

洲本バイパス (炬口～宇山間)

計画説明資料

洲本バイパスは、神戸淡路鳴門自動車道 洲本ICと洲本市街地のアクセスを強化し、通過交通を市街地から転換させる等により、交通混雑の緩和を目的として整備を進めています。

● 計画諸元

区 間	洲本市炬口～納(うち、宇山～納 開通済)
延 長	6.0km(うち 3.6km開通済)
道 路 規 格	第3種第2級
車 線 数	2車線(上下各1車線)
設 計 速 度	60km/h
最急縦断勾配	5.4%

● 事業の経緯

昭和57年6月	都市計画決定
昭和60年度	事業化
平成10年5月15日	大野～納 0.7km開通
平成12年4月28日	宇山～大野 2.9km開通
平成18年7月26日	地元説明会(幅杭、用地測量)
平成20年度～	用地買収(宇山～炬口)
平成28年度3月～	工事着手(炬口)

洲本バイパスは、**交通混雑の緩和、交通安全の確保、**
 および災害時の**代替路の確保**を図るほか、
 さらなる**地域の活性化**のため、**必要な事業**です。

洲本バイパスの整備により期待される効果

● 交通渋滞の緩和・交通安全の確保

洲本バイパス供用区間(宇山～納間)では、旧国道28号からバイパスへ交通が転換し、交通渋滞が解消しました。



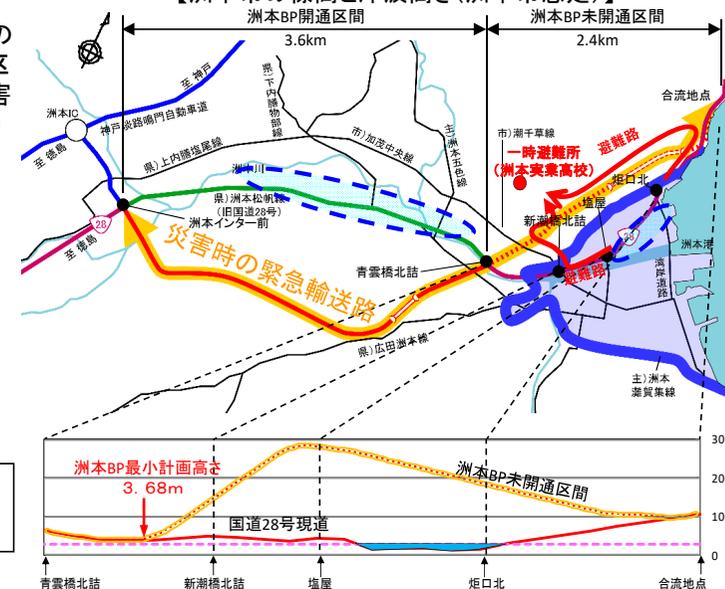
【今後、炬口～宇山間の開通により】

- ・ 地域の利便性が向上する
- ・ 国道28号の通過交通がバイパスへ転換するため、交通渋滞が解消・緩和する。
- ・ 騒音・振動等の沿道環境の改善される。
- ・ 通学路における交通安全が確保される。等の効果が期待されます。

● 災害時の代替路の確保・地域の安全確保

バイパスの未供用区間のうち、国道28号の一部区間は、地震時の津波被害警戒区域に位置しております。

【洲本市の標高と津波高さ(洲本市想定)】



【今後、炬口～宇山間の開通により】

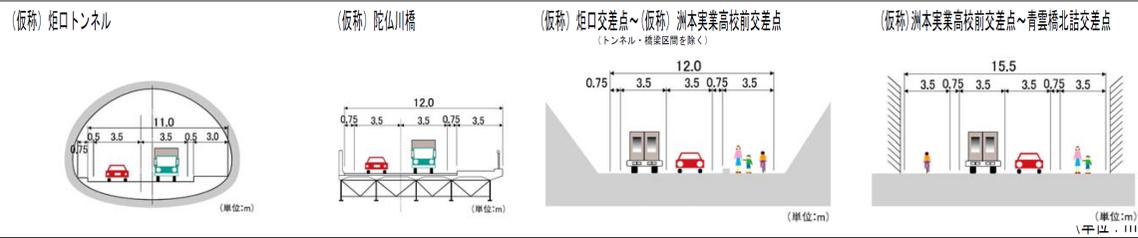
- ・ 緊急輸送路の確保、および災害時における避難路が確保される。
- ・ バイパス自体が安全な高さとなるよう計画しているため安全な避難ルートとして活用。

● 地域の活性化

このほか、観光施設・観光産業へのアクセス強化など地域の活性化にも寄与します。

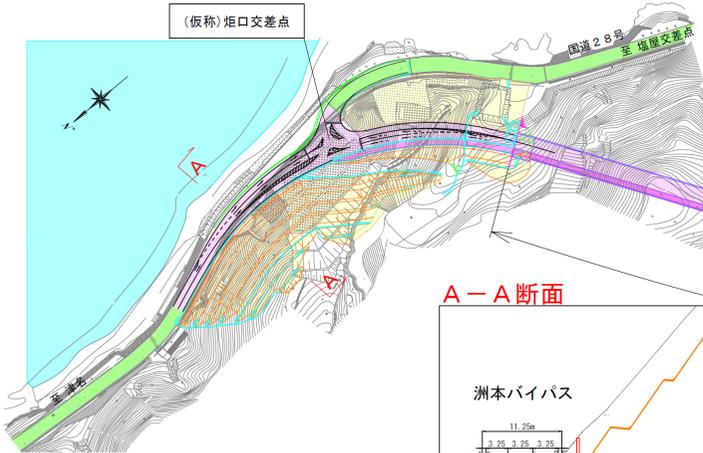
洲本バイパス (炬口～宇山) 全体計画図

標準断面図

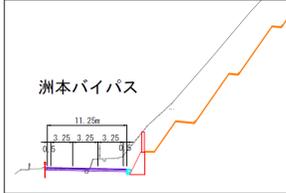


凡例

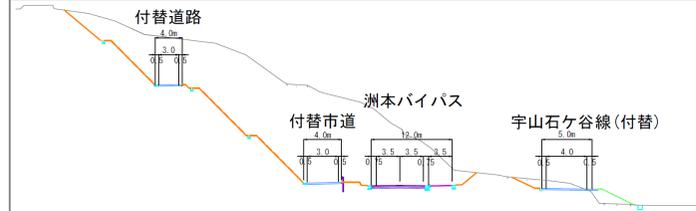
- 切土
- 盛土
- 車道
- 歩道
- 付替市道
- 現況市道
- 国道28号
- 水路



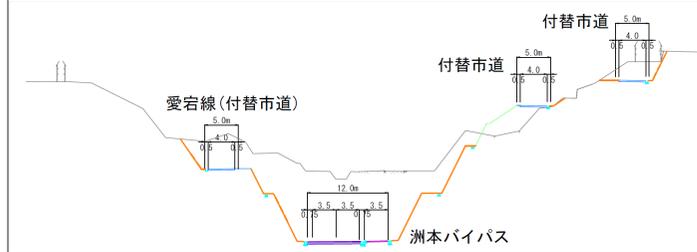
A-A断面



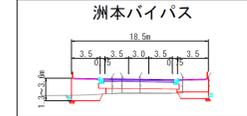
B-B断面



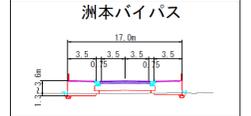
C-C断面



D-D断面



E-E断面



道路排水の主な流下のイメージ

陀仏川へ排水

宇山雨水幹線へ排水

洲本川へ排水

※計画については、現在詳細設計を実施している最中ですので、計画の変更が生じる場合があります